

令和3年度 学校法人福山大学事業計画

令和2年12月17日

I. 事業活動の重点

学校法人福山大学は、近時少子化に伴う18歳人口の減少、大学全入時代の到来等、社会情勢の変化に伴い、法人活動を営むにあたって相当厳しい状況を迎えているといっても過言ではない。

福山大学及び福山平成大学では、これまで学科改組・名称変更、成績優秀者に対する授業料の減免措置、建物等修学環境の整備、国外協定校からの留学生の確保及び入学定員の適正化等の施策を講じるなど対処してきており、ここ数年、入学者数の回復の兆しはあるものの、依然として受験者数及び定員の充足率において不本意であり、令和3年度も受験者及び入学者を確保することについて喫緊の重要課題として引き続き取り組む必要がある。

問題解決のため、受験者及び入学者確保並びに卒業生の就職先の確保及び高水準の就職率維持のための方策、教育システム並びにICTによる修学環境の充実・推進、高大連携の強化、施設・設備の充実等を含め、高校生等に魅力ある大学として様々な課題、に対し、主体的かつ機動的に対処する。

また、新型コロナウイルス感染症対策として、教育・研究環境確保のため、状況の変化に素早く対応した感染防止・予防対策を実施する。

II. 事業計画の主要項目

1. 令和3年度学校法人福山大学諸行事の実施
2. 受験者、入学者の確保施策の推進
3. 広報活動の強化
4. 大学教育改革等の推進
5. 学生のICTによる修学環境の充実
6. グローバル化の推進
7. 施設・設備の整備、充実
8. 新型コロナウイルス感染症対策の充実
9. 地域社会との連携推進
10. 教育・研究支援のための寄付金募集活動の推進
11. 長期ビジョン委員会による将来構想の継続的審議の推進
12. 法人運営の充実

III. 事業計画の内容

1. 令和3年度学校法人福山大学諸行事の実施

別紙「令和3年度学校法人福山大学諸行事の日程」のとおり

2. 受験者、入学者の確保施策の推進

- (1) 入試戦略委員会による入学者増のための施策の策定
- (2) 特色ある学部、学科づくりのための教育システムの推進
- (3) 学生のキャンパスアメニティの整備及び学内諸施設の改修
- (4) 総合型選抜(一般)、大学入学共通テストの継続実施
- (5) マスコミ及び学校法人福山大学社会連携推進センターを活用した積極的な広

報活動の推進

- (6) ホームページ及び広報誌等による学内情報のより一層の発信
- (7) 高大連携協定書締結高校との連携の充実
- (8) 福山大学・福山平成大学入試担当者と高等学校(備後圏域)との合同研修会の実施
- (9) 高校訪問活動のより一層の充実及び高校毎の大学訪問の積極的受け入れ
- (10) オープンキャンパス、出前授業等の充実や公開授業の全学的推進
- (11) 海外の大学との交流協定書に基づく留学生の受け入れ及び新規開拓
- (12) 同窓会(OB・OGによる業界研究会)及び後援会との連携による就職支援対策の強化

3. 広報活動の強化

ホームページ、大学要覧、高大連携広報誌「さん・サンメルマガ」、テレビCM、駅ホーム、空港デッキへの広報などの質的、量的充実を積極的に図るとともに、学部による特色をアピールした高校向けパンフレットの作成、保証人への学報の配送、学長短信、学長室ブログ、学校法人福山大学社会連携推進センターを利用した入試情報の発信・進学相談、松永商店街の継続など、より一層の広報活動を展開する。

また、シンボルマーク及びイメージキャラクターをより活用し、広く学内外にアピールするとともに大学のブランドイメージの高揚に努める。

4. 大学教育改革等の推進

福山大学教育システムに基づき、全学共通教育と専門教育、キャリア教育、資格取得教育など、教育の各側面に係る実践の質的向上を一層図り、必要な修学環境の整備に努める。授業評価アンケートや卒業生アンケートの結果を授業改善に活かすとともに、令和元年度より本格始動した学修成果の可視化をより進展させる。これは、ディプロマポリシーに由来する獲得すべき資質の達成度をレーダーチャートで表示するものである。担任教員は個々の学生の可視化された学修成果をきめ細かい学生指導に役立て、大学および各学部はPDCAサイクルを意識して、学科並びに大学全体としての教育目標達成度の判定に基づき、必要な改善を行う。

さらに、福山大学ではブランディング推進のための研究プロジェクトへの学生の積極的参加を促し、全学部を挙げて「地域にとって頼りがいのある地域の知の拠点」となることを目指し、地域の未来を創る「未来創造人」として学生を育てることに全力を傾注する。

また、福山平成大学では、日本高等教育評価機構による認証評価について、令和2年7月に受審申込みをし、令和3年10月中旬に受審予定である。

5. 学生のICTによる修学環境の充実

福山大学並びに福山平成大学では、BYOD (Bring Your Own Device/パソコン必携化)を推進するために学内無線ネットワーク機器の更新及びアクセスポイントの増設を行うとともに、福山大学、内海生物資源研究所、学校法人福山大学社会連携推進センターのインターネット回線の拡充を行い、教育・学修支援の更なる充実を図る。

6. グローバル化の推進

福山大学では、大学間及び学部間等の学術教育交流協定書に基づく海外の協定大学(アメリカ・中国・ブルガリア・ベトナム・インドネシア・メキシコ・ポーランド・台湾・韓国・ラオスの32大学)との交流の更なる発展・深化に努めるとともに、必

要に応じて新規協定の締結を目指し、優良留学生の確保と本学学生の海外体験の拡大を図る。なお、国内外における新型コロナウイルス感染症の状況に細心の注意を払いながら、適宜 ICT を活用した国際交流の機会を最大限設けるなどの取り組みを通じ、グローバル化の推進を図る。

7. 施設・設備の整備、充実

福山大学では、より質の高い教育を実践するとともに、学生のコミュニケーション、キャリア形成支援など、多種多様な目的に活用する福山大学未来創造館を令和3年4月から使用開始する。旧10・11・12号館を解体し当面は学生の憩い場に整備する。また、因島キャンパスに海洋生物科学科定員増に伴う研修棟新築工事を行うとともに、経年劣化の著しい福山大学8号館(築後38年)、旧売店(倉庫)(築後38年)、21号館(築後33年)及び22号館(築後33年)の解体工事を行う。そのほか26号館屋上防水工事、31号館1階演習室改修工事、大学会館空調制御盤取替工事などを行い保全に努める。福山平成大学では、構内歩道(東側)保全工事、4号館屋上防水修理を行うなど、両大学の学内諸施設の保全に努める。

主要設備としては、福山大学では、新たに三相誘導電動機実験装置及び多項目水質計などの購入、更新機器として恒温振とう培養器、バイオクリーンベンチ、培養倒立顕微鏡及び冷却機能付き遠心機などの購入を行う。福山平成大学では、新たに常圧低酸素トレーニングシステム、筋電計などの購入、更新機器として各種看護実習用機器などの購入を行うなど、両大学における学生の学修環境及びキャンパスアメニティの整備・充実を図る。

8. 新型コロナウイルス感染症対策の充実

インターネット回線充実のため、福山大学では1Gbpsから3Gbps(福山大学と内海生物資源研究所の間は10Mbpsから100Mbpsに、福山大学と学校法人福山大学社会連携推進センターの間は100Mbpsから1Gbpsへの拡充を含む。)に拡充を図る。

新型コロナウイルス感染拡大防止のための文部科学省の「学校の新しい生活様式」に対応した設備等(高速自動検温システム、消毒剤、マスク等)の整備・充実を図る。

新型コロナウイルス感染拡大の状況によっては、福山大学、福山平成大学の新入生に対する遠隔授業受信の環境整備のための奨学支援給付金について学校法人福山大学奨学支援給付金規則に基づき対応する。

9. 地域社会との連携推進

松永駅前活性化プロジェクト(通称プロジェクトM)を主体とする”学生の街、松永”の取り組みの更なる充実を図るとともに、近隣小学校の統廃合後の利活用について、地元町内会との連携協議を推進する。

学校法人福山大学社会連携推進センター、福山大学社会連携センター及び共同利用センター、福山平成大学びんご経営リサーチセンター及び地域交流センターをそれぞれ社会連携の拠点として、地域社会への貢献を果たすため、学校、病院、地元企業及び自治体等と連携して組織的、総合的な取り組みをより一層推進する。

びんご圏域における地方公共団体、大学及び企業等が連携して国際ビジネスで活躍できる人材の育成に努める。

また、学校法人福山大学社会連携推進センターでは、中国の協定校である対外経済貿易大学及び上海師範大学と協力して福山大学孔子学院の運営並びに大学における中国語教育の推進を図る。

10. 教育・研究支援のための寄付金募集活動の推進

福山大学並びに福山平成大学の学術研究や教育等の充実・発展のために、福山大学では、研究ブランディング事業他25件の研究・教育支援基金、福山平成大学では、3件の研究・教育・地域交流支援基金を設置し、両大学のホームページの他、福山大学卒業生並びに地元企業等にも募集を呼びかけ、寄付金募集活動について、より一層の推進を図る。

11. 長期ビジョン委員会による将来構想の継続的審議の推進

福山大学並びに福山平成大学の将来構想について、引き続き長期ビジョン委員会による検討の推進を図る。

12. 法人運営の充実

- (1) 学校法人福山大学の中期計画の推進
- (2) 定員未充足学部・学科の入学者確保のための募集活動のより一層の支援
- (3) 監事による監査及びその支援体制の充実
- (4) 福山大学並びに福山平成大学に係る教育・研究の拡充支援
- (5) 教職員の評価システムの充実

(参考) 過去3年間の入試実績

(福山大学)

年 度	入学定員	出願者数	合格者数	入学者数	充 足 率
平成30年度	970人	2,481人	1,578人	900人	92.8%
平成31年度	970人	2,763人	1,616人	914人	94.2%
令和2年度	970人	2,700人	1,658人	922人	95.1%

(福山平成大学)

年 度	入学定員	出願者数	合格者数	入学者数	充 足 率
平成30年度	340人	646人	481人	293人	86.2%
平成31年度	340人	725人	494人	305人	89.7%
令和2年度	340人	743人	500人	300人	88.2%

(別紙)

令和3年度 学校法人福山大学諸行事の日程

月	法人	福山大学	福山平成大学
4	理事懇談会(上旬)	入学式(3日) 前期授業開始(8日)	入学式(4日) 前期授業開始(9日)
5	理事会・評議員会 (下旬)	開学記念日(15日) 学長杯競技大会	開学記念日(15日) 学長杯競技大会
6		入試説明会(上旬) 進路別セミナー(上旬) 見学会(下旬)	入試説明会(上旬) 進路別セミナー(上旬) 見学会(下旬)
7	理事会(中旬)	体験入学会(中旬) 前期授業終了(28日) 前期定期試験(29日～8月6日)	体験入学会(中旬) 前期授業終了(28日) 前期定期試験(29日～8月5日)
8		夏季休業開始(9日) 体験入学会(下旬) 教育懇談会(下旬～9月上旬)	夏季休業開始(6日) 体験入学会(下旬) 保証人懇談会(下旬～9月上旬)
9		見学会(中旬) 夏季休業終了(20日) 後期授業開始(21日) 公開講座(中旬～10月下旬)	見学会(中旬) 夏季休業終了(15日) 後期授業開始(16日) 公開講座(中旬～10月下旬)
10	理事会(下旬)	総合型選抜(一般)Ⅰ期(下旬) 総合型選抜(スポーツA)Ⅰ期(下旬) 大学祭(三蔵祭)(29日～11月1日)	日本高等教育評価機構による認証 評価(中旬) 総合型選抜(一般)Ⅰ期(下旬) 総合型選抜(スポーツ)Ⅰ期(下旬) 大学祭(御幸祭)(22日～25日)
11		指定校推薦型選抜(中旬) 指定校(グローバル・会計経営・芸術メ ィ)推薦型選抜第1回(中旬) 総合型選抜(スポーツA)Ⅱ期(中旬) 公募推薦型選抜A(中旬) 総合型選抜(一般)Ⅱ期(下旬) 卒業生による業界説明会	指定校推薦型選抜(中旬) 指定校(資格推薦方式)推薦型選抜 第1回(中旬) 総合型選抜(スポーツ)Ⅱ期(中旬) 公募推薦型選抜A(中旬) 総合型選抜(一般)Ⅱ期(下旬)
12	理事会・評議員会 (中旬)	公募推薦型選抜B(中旬) 総合型選抜(スポーツB)Ⅰ期(中旬) 指定校(グローバル・会計経営・芸術メ ィ)推薦型選抜第2回(中旬) 授業終了(21日) 冬季休業開始(22日)	公募推薦型選抜B(中旬) 総合型選抜(スポーツ)Ⅲ期(中旬) 指定校(資格推薦方式)推薦型選抜 第2回(中旬) 授業終了(20日) 冬季休業開始(21日)
1		冬季休業終了(4日) 授業開始(5日) 大学入学共通テスト(15日～16日) 後期授業終了(28日) 一般選抜前期A日程(下旬～2月上旬)	冬季休業終了(7日) 授業開始(11日) 大学入学共通テスト(15日～16日) 後期授業終了(29日) 一般選抜前期A日程(下旬～2月上旬)
2		後期定期試験(4日～14日) 総合型選抜(スポーツB)Ⅱ期(中旬) 大学入学共通テスト利用選抜 (前期)(中旬) 一般選抜前期B日程(下旬) 業界説明会 企業懇談会	後期定期試験(4日～12日) 総合型選抜(スポーツ)Ⅳ期(中旬) 大学入学共通テスト利用選抜 (前期)(中旬) 一般選抜前期B日程(下旬) 業界説明会 企業懇談会
3	理事会(中旬)	春季休業開始(1日) 一般選抜後期(上旬) 大学入学共通テスト利用選抜 (後期)(上旬) 見学会(中旬) 学位記授与式(卒業式)(20日)	春季休業開始(1日) 一般選抜後期(上旬) 大学入学共通テスト利用選抜 (後期)(上旬) 見学会(中旬) 学位記授与式(卒業式)(21日)

※主要行事のみ掲載